

Minami Kyushu Junior College Syllabus						
科目名称	社会学概論					英語コミュニケーション () 留 学 () ビジネス・キャリア (必)
英文科目名称	Introduction to Sociology					ホテル・観光 () オフィス情報 ()
科目コード	531810	授業形態	講義	単位数	2	医療事務・医療秘書 () スポーツ健康 ()
教員氏名	秋谷 公博		年次配当	1年次	前期	大学編入 () グローバル ()
授業概要及び 授業方法	本授業では、社会学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、社会や地域社会が抱えている課題に対して自ら考え、改善策を提示できる思考力と実践力を養うことも目的としている。 本授業の目的を達成するために、前半部分では社会学で重要なテーマであり且つ社会学の入門者が理解しやすい「文化」、「宗教」、「格差と不平等」について取り上げることで、社会学の基礎的な視点や知識を身につける。授業の後半では、地域社会に関するテーマを取り上げることで、現代社会で地域社会においてどのような課題が山積しているか、又それを改善するための方策としてどのような取り組みが行われているかについて学ぶ。最後に、社会学を理解するためには、実際に自ら調査研究をすることが必要である。その為、社会調査法について学ぶとともに、グループ毎の調査研究を行うことで実践力と思考力を養う。					
関連する科目	統計学、現代社会学、社会学、グローバルゼーションと労働			学習成果との関係	① ② ③	
授業計画	1. オリエンテーション: 授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明 2. 社会学について考える 3. 文化について考える①: あなたの常識、世界の非常識? 4. 文化について考える②: 文化の多様性 5. 宗教について考える 6. 格差と不平等について考える①: 非正規雇用とネットカフェ難民 7. 格差と不平等について考える②: ホームレスと社会的排除 8. 地域社会について考える①: 地域社会とは 9. 地域社会について考える②: 地域社会の課題 10. 地域社会について考える③: 地域社会とまちづくり 11. 社会調査法について考える: 社会調査法 12. グループワークによる調査研究①: 研究課題の設定と研究計画の策定 13. グループワークによる調査研究②: データの分析とパワーポイント作成 14. グループ発表① 15. グループ発表②					
授業時間外の学習	予習は必ずしも必要ではないが、毎回授業内容を理解していないと次の授業の内容が理解できなくなってしまう。その為、復習は必ず30分程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにしておくこと。					
授業の到達目標	①社会学に関する基礎的な知識を身につける。 ②社会や地域社会が抱えている課題について理解できる。 ③社会や地域社会が抱えている課題に対して自ら考え、改善策を提示できる思考力と実践力を身につける。					
課題に対する フィードバック	課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。			評価方法	①ミニレポート・課題(30%)、②授業態度 グループワーク等への貢献度(30%)グループ発表(40%)で算出する。	
テキスト	本講義は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら講義を進めていく。					
参考書	適宜授業で紹介する。					
備考	特になし。					